

ICT教育の推進 新しい授業が始まっています 口 ICTを使った授業の様子を紹介します口

児童生徒用タブレットパソコンが1人に1台配備されてから、もうすぐ1年になります。

一人ひとりに応じたきめ細かな教育の実現を目指し、ICT機器を活用した授業が区内各校で日々行われています。

令和3年11月13日(土)に区立小中学校で行われた公開授業の様子をお届けします。



光が丘第八小学校

～タブレットですぐにできる意見共有～

〔国語 4年生〕 グループごとに実施したアンケートの結果を整理し、そこからどんなことが分かるかを話し合いました。Google Forms(アンケート作成・集計ツール)の集計機能で、全員の考えを瞬時にグラフで見ることができるようになりました。グラフを見ながら、さらに自分の考えを深めたり、発表に向けての話し合いをしたりすることができました。



〔生活単元学習 特別支援学級4・5年生〕 自分の好きなものについて、Jamboard(1つの画面で共同編集ができるツール)で作ったスライドを使い、相手に分かりやすく伝える発表を行いました。

発表後は、Google Formsで作った選択式の感想シートを活用することで、発表に対する感想を簡単に回答することができました。

また、全員の感想をすぐに集計して、クラス全体で共有することもできました。



開進第四中学校

～タブレットは文房具！様々な場面で活用されています～

〔総合〕 Jamboardを使ってグループごとに意見を出し合いました。画面を通じてリアルタイムに他の生徒の意見を見ることで、自分の考えを整理し、思考を深めることができます。



〔理科〕 実験の動画を電子黒板で見てから班ごとに実験を行いました。説明だけでなく、視覚からの情報で学習内容についての理解が深まります。



〔美術〕 競技のポーズや筋肉の動きをタブレットで画像検索し、粘土で表現していました。タブレットを使うことで様々なポーズを見つけることができる、制作や表現に時間を費やすことができます。



〔技術〕 タブレットと多機能時計を接続し、色、音、アラームなど、自由自在に動かすプログラムを組み込みました。実際にプログラムで作動するものを作ることで、プログラミング的思考が育成されています。



～タブレットの使い方についてご家庭でも話し合いましょう～

学校内外を問わず、ICT機器の利用機会が増えています。タブレットの利用にあたっては、目的に沿った使い方や、健康への影響に配慮することが大切です。ご家庭で使い方のルールなどについてお子さんと話し合ってみましょう。



学習のために使おう

使用時間を決めて使おう

部屋を明るくして使おう

目を休ませながら使おう

【問合せ】教育施策課 教育ICT政策担当係(電話5984-1626)

お子さんの生活習慣について お困りではありませんか

日々の生活中で、お子さんがなかなかうまく行動してくれずにお困りになっていることはありませんか。

何度も言つても行動に移さなかつたり、最後までやりきれなかつたりするので、親はついつい怒ってしまい、お子さんも怒られるからさらにやろうとしないという悪循環に陥つてしまふかもしれません。

お子さんの行動を上手に促す親の関わり方のポイント

予告

事前に予告して本人の中で見通しをつけてもらう。

確認

時間になつたら声かけをする。穏やかに子供に近づいて声のトーンを抑えて静かに具体的に伝える。

ほめる

「ほめる」とは、ポジティブな注目のこと、「気づく」「認める」「励ます」「感謝する」「笑顔をかえす」なども含めます。してほしい行動が少しでも見られたら積極的にほめましょう。



〈具体例:宿題の場合〉



(時計を指さして)

「あの時計が5時になつたら宿題をやろうね。」



(子供のそばに行って、時計を指さして)
「5時になつたね。宿題をやろうね。」

「宿題をやり始めたんだね。頑張っているね。」
「半分までよく頑張ったね。」



親がほめることで気持ちが前向きになり、子供との関係の悪循環を断ち、コミュニケーションをスムーズにし、よりよい関係を築けます。その結果、子供とうまく関わられるようになります。親のストレスも減ります。また、子供が自分の行動をコントロールする力を育てることもできます。家庭だけでは対応が難しい場合は、スクールカウンセラーや区内の教育相談室に相談してみましょう。

【問合せ】学校教育支援センター〔電話6385-9911〕

地域の力で学校の教育活動を充実させるために

区立小中学校・幼稚園で「学校・地域連携事業」を進めています

学校・地域連携事業は、地域の方々のご協力のもと、学校の教育活動の充実を目指すものです。事業実施6年目となる令和3年度は、昨年度に引き続き、区立の全小中学校・幼稚園で実施し、更なる活動の充実を目指しています。

各校には、地域と学校の橋渡し役として「学校支援コーディネーター」を配置しています。学校支援コーディネーターは、学校のニーズに応じて、地域の方への協力依頼や協力時のサポートなどを行います。

学校支援コーディネーター

ニーズの把握

協力依頼

教育活動への協力

例)授業の補助、ゲストティーチャー、放課後学習の支援、部活動指導補助、学校図書館運営支援、花壇の整備、消毒など



学校では、地域の方が様々な分野でご活躍されています

【問合せ】教育指導課 管理係〔電話5984-5746〕

通学路安全点検を実施しました

教育委員会では、全区立小学校65校を3グループに分け、1グループずつ毎年通学路の安全点検を実施しています。今年度は9月から11月にかけて24校で実施しました。

点検は、教育委員会、学校、保護者、練馬・石神井・光が丘の各警察署、都の関係機関と合同で通学区域を歩いて実施しました。

危険性があると判断された箇所については、教育委員会で対策をとるとともに、各警察署、都の関係機関にも対策を要請し、児童生徒の登下校時の安全対策の充実を図っています。



【問合せ】教育総務課 学校安全推進担当係〔電話5984-1346〕

地域とつながる保育園 ~上石神井保育園~

新型コロナウイルス感染症対策のため、今年も地域の方とのふれあいは難しいかな…と思っていましたが、思いがけずつながり、いろいろな体験をすることができました。これからも地域の方との交流を大切に、地域の中の保育園でありたいと思います。

ブルーベリー狩り



さくら菜果園さんにお世話になりました。一般の方と一緒にならないようにご好意で時間差をつけていただきました。食べごろの説明を真剣に聞いています。



おいもほり



上石神井特別養護老人ホームさんのお招きで、おじいちゃんおばあちゃんが植えたお芋を掘らせていただきました。優しいまなざしに見守られ沢山のお芋にホクホクでした。



子育て応援 BOX



地域の子育て中の方とお手紙で交流しています。
一人じゃないと思ってもらえること
で子育てを応援していきます。
地域の方、お待ちしています!

【問合せ】保育課 管理係(電話5984-5839)

新たに「ビクター幼稚園」を練馬こども園に認定

区独自の制度として、長時間の預かり保育などを行う私立幼稚園を「練馬こども園」として認定しています。お子さんの教育や保育について選択の幅が広がり、共働き家庭からも利用されています。

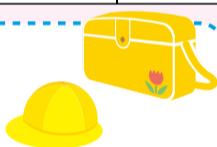
新たに「ビクター幼稚園」を練馬こども園に認定しました。

利用申込などの詳細は、ビクター幼稚園へお問い合わせください。

幼稚園名(所在地)	電話番号	対象	預かり保育時間	定員
ビクター幼稚園 (桜台5-11-5)	3991-8090	3~5歳	8:00~17:30	10名

練馬こども園の特徴

- ・夏・冬・春休みを含め、1日9~11時間預かれます
- ・各私立幼稚園の特色を活かした教育を実施します



【問合せ】こども施策企画課 こども施策担当係(電話5984-1522)

令和4年度 ジュニアリーダー養成講習会の受講生を募集します

小学5・6年生と中学生を対象とし、地域や学校などで仲間づくりのリーダーとして役立つよう、グループ活動の楽しさやルール、レクリエーション活動の技術や知識などを学ぶ「ジュニアリーダー養成講習会」の受講生を募集します。

講習会では、野外活動や地域に関心を持っていただけるようなプログラムなどの体験ができます。

運営・指導は練馬区青少年委員会とジュニアリーダー養成講習会を修了した高校生以上の青年リーダーが行います。受講修了者は、地域のボランティア活動などにも参加しています。

詳しくは、区立小中学校で配布する募集案内または区ホームページをご覧のうえ、2月16日(水)(消印有効)までにお申し込みください。

※新型コロナウイルス感染症対策を講じたうえで実施します。

※区立小中学校以外の方はお問い合わせください。

※ホームページについては「練馬区ジュニアリーダー養成講習会」で検索してください。

【ホームページアドレス】

<https://www.city.nerima.tokyo.jp/kosodatekyoiku/kyoiku/seishonen/juniorleader/index.html>



～講習会での様子～

【問合せ】青少年課 青少年係(電話5984-4691)

第40回練馬区学校保健大会を開催

令和3年12月16日、練馬文化センターにて保護者、学校医、学校歯科医、学校薬剤師、区立学校の教職員などが参加する「練馬区学校保健大会」を開催しました。学校保健大会は、学校保健関係者が一堂に会し、学校保健の課題について共通理解を広め、一層の協力を推進するために年1回開催しています。今年度は会場参加者数を例年の半数以下とし、オンライン配信を実施するなどの感染症対策を十分に実施したうえで開催しました。当日の会場参加者およびオンライン参加者はそれぞれ150名程度となりました。



大会では、練馬区学校薬剤師会が「学校で必要な感染予防」をテーマとした研究発表を行いました。新型コロナウイルスが蔓延するなか、基本的な感染予防の重要性を改めて考えさせられる内容となっていました。

また、特別講演には、国立感染症研究所感染症疫学センター第11室長の新井智先生をお招きし、「学校における新型コロナウイルス対策について」をテーマにお話をいただきました。専門的な知識をもとに新型コロナウイルス対策について講演していただき、理解を深めることができた、貴重な講演となりました。

これからも、このような機会を通じて学校保健関係者の相互理解を深め、連携を図ることで、子供たちの健全育成につなげていきたいと思います。

【問合せ】保健給食課 学校保健係(電話5984-5729)

おかだ ゆきお 教育委員に岡田行雄氏が就任

岡田行雄氏が、令和3年12月19日に教育委員に就任しました。任期は令和7年12月18日までの4年間です。

新しい年を迎えて～教育委員会からのごあいさつ～



コロナ禍を乗り越えて

教育長 堀 和夫

この2年間、新型コロナウイルス感染症の蔓延により、子供たちは様々な制約を余儀なくされました。さらに昨年末からのオミクロン株の拡大は、今年になって爆発的な広がりとなっています。

教育委員会では、子供たちの健康に十分に留意し、子供たちの笑顔が輝く生活を取り戻すために、全組織・全教職員が、これまでの経験を生かすとともに創意工夫し、コロナ禍を乗り越えるよう取り組んでまいります。



新年を迎えて

委員 中田 尚代

ICT教育が順調に進み、一人一台のタブレットが配備され1年が経とうとしています。コロナ禍の教育現場は、まさに不易流行。教育ツールのひとつに加わった、タブレットを使った授業という新しい学びのスタイルが始まっています。この利点を生かして、子供たちが臆することなく伸びやかに学べる環境が必要だと感じています。そんな環境作りの一助となるよう努めてまいります。



未来を担う子供たちのために

委員 伸山 英之

環境科学の先駆者レイチェル・カーソンは、子供たちの豊かな感受性を育むことが知識の獲得や知恵を生み出す上で重要であると指摘しています。今、子供たちを取り巻く環境は、社会が直面する様々な問題の影響を受け、大変厳しい状況にありますが、みんなが豊かな感受性をもって生き生きと成長し、未来を担う立派な人材になれるように、関係する方々と共に支援していきたいと思います。



私は元気です、そのあとは?

委員 坂口 節子

英語で挨拶したことがありますか? I'm fine. と答えてそのあとは何を話せばいいのでしょうか。楽しく会話を続けるにはもっと言葉が必要です。好きなこと、食べ物、遊びなど気持ちを合わせると話題は広がります。日本語の会話も同じ、言葉の貯金が必要です。黙食の給食時間でも想像の翼と共に自由に思いめぐらしてみてください。

でも一番の願いは給食だけでなく一日も早く感染などを気にしない学校に戻ることです。頑張りましょう。



自己肯定感・自己有用感の育成

委員 岡田 行雄

昨年暮れに教育委員に就任しました。よろしくお願ひいたします。

令和元年版の「子供・若者白書」に、自分自身のイメージとして「自分の親から大切にされている」と感じている割合が最も多い反面、「自分自身に満足している」割合が低いことが示されました。私のライフワークでもある子供たちの自己肯定感、自己有用感の育成に取り組むことを通して、職責を全うしていきたいと思います。

令和3年度 練馬区教育委員会児童・生徒表彰

練馬区教育委員会では、さまざまな活動の場において一生懸命努力している子供たちを応援するため、児童・生徒表彰を行っています。

令和3年度は、スポーツ・文化芸術などで活躍した、個人214名の表彰者を決定しました。表彰状は各学校で授与されます。

対象となった児童・生徒の氏名などの詳細については、下記の二次元コードを読み取るか、区ホームページから「練馬区児童・生徒表彰」で検索してください。

【ホームページアドレス】

<https://www.city.nerima.tokyo.jp/kosodatekyoiku/kyoiku/gakko/hyoesha.html>

【問合せ】教育総務課 庶務係(電話5984-5609)



令和4年度“社会を明るくする運動” ポスター・チラシの原画を募集します

“社会を明るくする運動”は、犯罪や非行を起こさせない地域社会づくり、そして犯罪や非行を犯して地域社会に戻ってきた人たちを温かく迎えることで、犯罪や非行のない明るい社会を一日も早く実現させることを願う全国的な運動です。

“社会を明るくする運動”的強調月間である7月に、区立掲示板などに掲示するポスターや、区立施設や区立小中学校で配布するチラシの原画を募集します。皆様のご応募をお待ちしています。

ポスター・チラシの原画



®更生ペンギンのホゴちゃん

▼対象者：中学生

▼締切り：令和4年2月25日(金)

▼応募規格

●用紙：画用紙 ハツ切り(380mm×270mm)

●描画：水彩絵の具など

●提出：作品裏面に①住所②氏名(ふりがな)③学校名・学年④電話番号を記入のうえ、区立中学校に通っている方は、学校の指定する日までに学校に提出してください。区立中学校以外の方は、持参または郵送で〒176-8501区役所内青少年課青少年係(本庁舎11階)まで送ってください。

▼留意事項

社会を明るくする運動の趣旨に沿って作成してください。

【問合せ】青少年課 青少年係(電話5984-4691)

「教育だより」へのご感想やご要望をお寄せください

教育だよりの紙面に対してはもちろん、各記事の詳細につきましてもご感想やご要望をお待ちしておりますので、下記のホームページアドレス、または二次元コードからアクセスし、「教育だよりのご感想・ご要望はこちちら」よりメールをお寄せください。いただいたご感想、ご要望は、次号以降の記事作成への参考とさせていただきます。よろしくお願ひいたします。

教育総務課 庶務係 <教育だより ホームページアドレス>
<<https://www.city.nerima.tokyo.jp/kosodatekyoiku/kyoiku/gakko/kyoikudayori.html>>

